

「アラブの心臓」に 何が起ったのか

現代中東の実像を捉える



日時

2019 年 1 月 12 日 土曜日

13:00~17:00

開場 12:30

場所

立命館大学衣笠キャンパス

創思館カンファレンスルーム(定員140名)

※お席に限りがありますので、万一立ち見となる場合は申し訳ございません。

事前登録
不要

入場
無料

【問合せ先】17v00017 @ gst.ritsumeai.ac.jp (担当/二宮)

主催(共催)

科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)「グローバル関係学」計画研究B02

「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」(研究代表者：末近浩太)

科学研究費補助金・基盤研究(A)

「東アラブ地域の非公的政治主体による国家機能の補完・篡奪に関する研究」(研究代表者：青山弘之)

科学研究費補助金・基盤研究(B)(海外学術調査)

「現代中東におけるイスラーム主義運動の動向と政治的帰結に関する比較理論研究」(研究代表者：末近浩太)

立命館大学国際地域研究所プロジェクト

「中東地域研究の新たなパラダイム構築に向けて：宗教と政治の絡み合いを再考する」(研究代表者：末近浩太)

龍谷大学社会科学研究所 共同研究プロジェクト「中東諸国民の国際秩序観」(研究代表者：濱中新吾)

Photos: Hiroyuki Aoyama 2018



イスラーム国（IS）の猛威が去った今も、「アラブの心臓」と呼ばれる諸国を中心に、中東では政治的な混乱が続いています。本シンポジウムでは、青山弘之編『「アラブの心臓」に何が起こっているのか：現代中東の実像』（岩波書店、2014年）の執筆者たちが、刊行後のフォローアップとして、最新の研究成果を踏まえながら、今の中東の実像と将来の展望を語ります。

Program

- 13:00-13:10 趣旨説明
- 13:10-13:30 シリア—黙殺される復興
青山 弘之（東京外国語大学）
- 13:30-13:50 エジプト—「安定」は虚像か実像か？
横田 貴之（明治大学）
- 13:50-14:10 シリア—イスラーム過激派の衰退
高岡 豊（中東調査会）
- 14:10-14:30 イラク—宗派対立の拡大条件
山尾 大（九州大学）
- 14:30-14:40 休憩
- 14:40-15:00 レバノン—「決めない政治」をやめるフリを
することを「決める」
末近 浩太（立命館大学）
- 15:10-15:30 ヨルダン—ハーシム家レジームの清算と継承
吉川 卓郎（立命館アジア太平洋大学）
- 15:30-15:50 イスラエル—法の精神として現前する
ナショナル・アイデンティティ
濱中 新吾（龍谷大学）
- 15:50-16:00 休憩（時間調整）
- 16:00-16:50 総合討論
報告者7名
討論者: 岩坂 将充（同志社大学）
討論者: 今井 宏平（アジア経済研究所）
- 16:50-17:00 閉会

今井宏平

岩坂将充



青山弘之



横田貴之



高岡豊



山尾大



末近浩太



吉川卓郎



濱中新吾

